



彩の国
埼玉県

埼玉県立浦和図書館広報誌 《 調しらべ 24号 》

市場・業界情報について調べる

～調べものに役立つ資料案内（ビジネス編⑧）～

編集・発行 埼玉県立浦和図書館

TEL048-829-2821

<https://www.lib.pref.saitama.jp/>

平成23年10月4日発行



商業分野の起業において、その地域におけるニーズを把握することは、大切なプロセスのひとつ。また業界の動向にも注意を払っておきたいものです。本号では、そのために役立つ情報をご紹介します。

1 市場・業界情報を調べる

業界動向の概要を知る

図書館には以下の資料があります。

R338.55/㉜『業種別審査事典』（全9巻）第11次 金融財政事情研究会 2008

1290の業種について、業種の特徴、業界動向、業務知識、関連法規、業界団体などが載っています。

R335.21/㉜『業種別業界情報 2011年版』 経営情報出版社 2011

商・工・サービス業350業種について、各業種の特徴、企業規模、商品知識、流通経路、売上・利益、業界の悩み・今後方向など、しくみと最新動向がわかる一冊。

R338.55/㉜『TDB業界動向 2012-1』 帝国データバンク 2011

約100業界の動向・展望、各業界の主要企業の動向、関連法規を掲載。

『日経テレコン21』 [オンラインデータベース]

「日経会社プロフィール」で約30,000社の企業情報を見ることができます。

☞ 県立浦和図書館でご利用頂けます。3階社会科学カウンターまでお申し込み下さい。

市場の最新情報は統計資料から

①官公庁の統計

《 e-Stat 政府統計の総合窓口 》（総務省・統計センター）

<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do>

分野、キーワード、作成機関等から統計データを検索できます。

《 統計 》（経済産業省） <http://www.meti.go.jp/statistics/ichiran/index.html>

経済産業省所管の統計が掲載されています。

⇨ 経済産業省生産動態統計 <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/seidou/index.html>

個々の製品の生産、出荷（販売額・販売量）等を月別に見ることができます。

⇨ 特定サービス産業生産動態統計

<http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/tokusabido/result-2.html>

経済産業省の所管するサービス業の統計（事業所数・従業者数・年間売上高等）。

☞ これらの統計をまとめた資料を図書館で見ることができます。

R673.9/㉜『特定サービス産業実態調査報告書』（各産業別）etc.

①白書を活用する

統計に分析を加えた白書類は市場調査に有効です。

335.35/㉜『新規開業白書 2010年版』 中小企業リサーチセンター 2010

国民生活金融公庫が融資した開業間もない企業を対象とした各種調査の結果を収録する資料

673.95/㉜『少子化・高齢化ビジネス白書 2010年版』 日本ビジネス開発 2010

少子化・高齢化関連のビジネスを取り上げ、市場動向やビジネス事例等を紹介

673.9/㉜『カラオケ白書 2011』 全国カラオケ事業者協会 2011

カラオケ業界の現状と動向がわかる

① 業界団体の統計

業界団体のWebサイトで公表するとともに、その業界団体が発行している年鑑や業界紙等に掲載されることも多くあります。公開が会員限定のものもあります。

インターネットで見る

《データから見る外食産業》(日本フードサービス協会) http://www.jfnet.or.jp/data/data_c.html

外食産業の業態別(ファーストフード、ファミリーレストラン等)の市場動向(売上高、店舗数、概況等)が月別、年別で載っています。

業界年鑑・業界紙で探す

以下に図書館で所蔵する資料の一部をご紹介します。

R580.35/㊦『生活用品目別企業便覧 2006~2007』家庭日用品新聞社 2006

生活用品を24ジャンルに大別し商品名ごとに製造メーカーを掲載。巻末に市場規模等を収録。

R673.86/ニホ『日本スーパー名鑑 2011年版』(全3巻) 2010

主要スーパー1,405社、39,902店の会社概要と店舗データを収録。

R673.97/㊦『外食企業年鑑 2011年版』外食産業新聞社 2010

外食産業の動向と展望・外食企業500社、食材卸200社、関係団体80団体の名簿。

☞ 業界紙・業界新聞については25号(業界紙・業界新聞について調べる)をご覧ください。

出版社等で独自に分析・解説したもの

335.5/ニツ『日経業界地図 2011年版』日本経済新聞社 2010

105業界・企業グループの最新状況と今後の見通しをビジュアルに解説。投資や就職、ビジネスに使えるデータを満載。巻頭では主要100品目の最新シェアを特集。

335.21/㊦『会社四季報業界地図 2011年版』東洋経済新報社 2010

「会社四季報」記者が東証業種分類のすべてについて独自予想・徹底解説。主要企業の動向が一目瞭然で、就・転職のガイドや、自社・同業他社・異業種の研究、株式投資にも使える1冊。

『JRS経営情報』 [オンラインデータベース]

中小企業経営に的を絞って、約15,000件の経営情報を提供。「業種業界動向」「助成金・融資・ベンチャー支援情報」等。

☞ 県立浦和図書館でご利用頂けます。3階社会科学カウンターまでお申し込み下さい。

2 市場調査のヒントになる資料

図書館にはこんな資料が

675.2/ニツ『日経市場占有率 2011年版』日本経済新聞社 2010

新たな製品規格の普及や制度・政策の導入。市場環境の変化はシェアにどう影響したのか。189品目のシェアを日経記者が詳しく解説。過去5年間の推移も収録。ビジネスに、就活に、投資に役立つ1冊。

巻末に「企業名索引あり」

675.4/ニツ『日経MJトレンド情報源 2011年版』日本経済新聞社 2010

1年間の消費・流通・サービスの動向が、1冊に凝縮。商品開発やマーケティングのヒントとなるトレンド解説や、日経独自調査による各種ランキングが充実。

R675/ヒシ『ビジネス調査資料総覧 2011』日本能率協会総合研究所 2010

日本能率協会総合研究所MDB(マーケティング・データ・バンク)が作成したマーケティング情報の資料総覧。産業・商品・生活者調査の情報源。

365/㊦『消費社会白書 2010』JMR生活総合研究所 2009

消費の動向等について図表を交えて解説した資料です。年次ごとにテーマを設定し、自社インターネットモニターへの消費動向調査をもとに、消費をどう読むべきか、図表を多用しながら分析・解説しています。巻末に調査設計および図表索引あり。